

## 2019年度第2回支部集会【四国支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会  
共催：国立大学法人香川大学教育学部  
開催日：2019年10月19日（土）  
会場：香川大学 幸町キャンパス 教育学部8号館1階  
参加者：61名（会員20名・一般41名）

四国支部の支部集会が、2019年10月19日に香川大学教育学部で開催されました。小雨がちらつく中、香川県内だけでなく四国内外から多くの方々にご参加いただきました。特に、地域で日本語支援に関わる方など一般の参加者が多く、関心の高さが感じられました。



一般の方も多く参加された



熱心に聞き入る参加者

今回の支部集会では、「現場から発信！四国の日本語教育研究事情 2019」と「交流ひろば」の二つの企画が行われました。前半の「研究事情」は、2017年度の愛媛大学での支部集会で好評だった企画に続くもので、四国4県の学会員の協力で実現しました。「国際結婚移住女性のライフステージに合わせた日本語支援とは」、「外国人介護職員の受入れをめぐる地方の課題について－高知県のケース－」、「地域日本語教室における対話を中心とした活動の試み」、「多文化共生社会の防災について」というテーマで各県の現場に関わる研究について発表者から紹介のあった後、活発な意見交換が行われていました。

後半の「交流ひろば」では、四国内に加えて関東、関西と九州地方からも出展がありました。地域の日本語教室、日本語学校や大学といった多様な現場での活動や実践7件で、テーマも介護専門語彙学習、外国人生活者の漢字学習、日本語・日本事情、音声、副詞の指導や地域の防災活動など多岐にわたるものでした。参加者が多いことから、急きょ二会場に分かれることになりましたが、いずれのブースも参加者が途切れることなく、出展者と参加者の間で積極的なやり取りが行われる光景が見られました。

全体的に和やかな雰囲気の中で有益な情報交換が行われ、多様な参加者の交流を深める場となりました。事後のアンケートでも、「地域の日本語教育について各地の取り組みを知ることができ有益でした」「学術的な話を実際の現場にいかすことができたらと思います」など肯定的なコメントが多く、有意義な会になったと思います。予想を超える方々にお越しいただき、ご不便をおかけした点もあるかと思いますが、多くの方々のご協力のおかげで、無事開催することができました。あらためて参加して下さった方々、運営にご協力くださった皆さまに、心より御礼申し上げます。

（報告者：支部活動委員 山下直子・佐野由紀子）